

矢板の一番物語

剣詩舞・ゴルフの団体をご紹介します！！

若人よ、来たれ!! 男性も大歓迎!!

遊月流吟舞会

昭和四十九年の矢板市文化協会設立時より加盟し活動している剣詩舞には六つの会があります。それぞれの会にお弟子さんがいて、代表者が指導しています。遊月流吟舞会の第四代宗家の鈴木遊月（謙治・七十歳）さんにお聞きしました。

●活動状況は
週一回、二時間練習をしています。会員は女性が九割で、平均年齢は七十歳ほどです。新年会を兼ねて、初舞が二月の末にありま

●この道に入られたきっかけは
母が詩吟の先生でしたので、幼少のころから常に耳にしたり、一緒に吟じたりしてました。その後、剣詩舞に興味を持ち昭和四十一年から活動してきます。長年努力してきた甲斐が

あつて、平成二十六年の全国剣詩舞道連盟決勝大会の一般・大人の部で二位という賞をいただくことができました。



●今思うこと
嬉しかったことは、時代背景をよく説明して振り付けした子どもたちの踊りを見た保護者から「作者の思いを理解した踊りですね」との言葉をいただいたことです。また、浅田真央ちゃんのトリプルアクセルを振り付けに取り入れたりして、工夫もしています。

●設立はいつですか？
平成十九年八月二日に三十二名で、第一回大会の開催と同時に設立しました。

●会員の条件は
矢板カントリーの正会員または友の会員で、男性六十歳以上、女性五十歳以上

●ゴルフを通じたい
十二月にチャリティを計画して、福祉活動に協力したいと思っています。

●ゴルフを通じたい
十二月にチャリティを計画して、福祉活動に協力したいと思っています。

健康でゴルフを楽しもうぜ!!

矢板倶楽部 (矢板カントリークラブ&レディース会)

●倶楽部の特徴は
大会運営は、ゴルフ場ではなく、シャトーの社友会・元職員・元労組連・市ゴルフ連盟を中心に自主的に委員会を立ち上げ、委員自らが行っています。他のゴルフ場では、ここまでできないと思いますし、自主運営でこれまで長続きしているゴルフ大会は他にないと思います。

●今後どのような活動をしていきますか
メンバーを増やしたいですね。高齢化が進み、辞める人も出てきているので、人が特に多く入ってほしいです。

●ゴルフを通じたい
十二月にチャリティを計画して、福祉活動に協力したいと思っています。

●ゴルフを通じたい
十二月にチャリティを計画して、福祉活動に協力したいと思っています。

